



高島幼稚園だより

令和 6 年 5 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-1 8-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50周年
キャラクター
「たんたん」



子どもたちの様々な遊びと環境

園長 井上 朋子

サクラから花のバトンが移り、街路樹のハナミズキがきれいに咲いています。先日、5月連休明けに野菜を植えられるように土作りをし、準備をすすめました。今年は、どんな野菜が実るか楽しみです。

さて、入園してから2週間が経ち、子どもたちは新たな場での生活の中で、少しずつ自分なりに動き始めています。保育室には、子どもたちの興味や実態に合わせた遊具が置かれ、自分から触ってみたい気持ちになって、遊具を手に取り、動かしたり組み合わせたり、並べたりして遊んでいます。手先を使った活動では、こいのぼり作りを楽しむ様子があります。それぞれ製作する過程が年令に応じて違い、発達に合った製作活動になっています。3歳児はこいのぼりに半円状に切ったシールのう



ろこを付け、4歳児は子どもの人差し指で糊を付けられる大きさのうろこを貼り、5歳児は、友達と相談してこいのぼりを作っていきます。園庭の大きなこいのぼりは5月の光景ですが、子どもたちが間近に見ることができて作る時の手掛かりになっています。

この時期の園庭は、虫がたくさん出てきます。子どもたちが大好きなのは、もちろんダンゴムシ。先日、春探しをしていた年長組の子どもたちがダンゴムシを描こうとして、「ダンゴムシの足って何本だっけ？」という問いが生まれました。様々なことを感じて、考えている子どもたちです。また、年長組の子どもたちがダンゴムシを探して見ていると、「こっちのダンゴムシとこっちのダンゴムシは色が違うね」「こっちは子どもなんだよ」と、つかまえたダンゴムシを見ながら話しています。先生も一緒になって楽しんでいると、そこへ、年中組の子どもたちがやってきて、興味津々で見えています。「もっと小さいダンゴムシもいるかな?」「もっと探してこよう」と、重い植木鉢をどかしながら、さらに探し続けると、年中組の子どもたちも一緒に探し始めます。学年の違う子どもたちが寄り合う場となりました。

園庭という狭い場所でも、目を向けると、様々な自然との出会いがあります。気に止めないと見えてこない自然ですが、私たちの周りにある自然に目を向けることは、これから生きていく未来にもつながっていくでしょう。

今後も、子どもたちの周りにある環境との出会いを大切に、準備をしたり、子どもたちの興味を捉えて保育の中に生かしたりしながら、すすめてまいります。

